

わらべ保育室だより

《発行》
庄原市病児病後児施設 わらべ保育室
庄原市西本町2丁目12-9
0824-74-6770
(一社)里山こども未来会議
庄原市西本町2丁目8-11
0824-74-6636
庄原市 児童福祉課 あんしん支援係

令和6年度 冬号

広島県内ではインフルエンザ注意報が12月5日に発令されました。わらべ保育室でも11月末からインフルエンザA型で利用するお子さんが増えてきています。その他には、溶連菌感染症、アデノウイルス、感冒、マイコプラズマ肺炎、喘息様気管支炎などでわらべ保育室を利用されています。(10~12月)。改めて、感染予防について理解を深め、この冬を健康に乗りきりましょう！

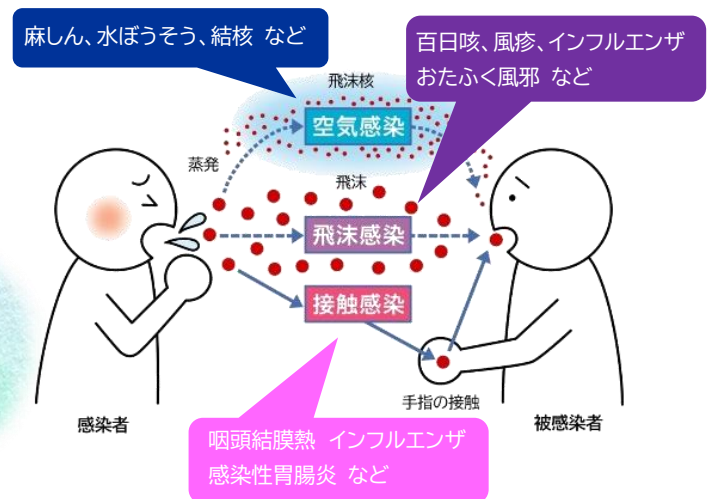
インフルエンザの感染予防



毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。

どうやって感染するの？

感染症を予防するには、その感染症が「**どうやってうつるのか=感染経路**」を知ることが欠かせません。感染症には、いくつかの感染経路があります。感染症の種類によって、「**どうやってうつるか**」が変わってきます。



インフルエンザの主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」

●飛沫感染●

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出→別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染

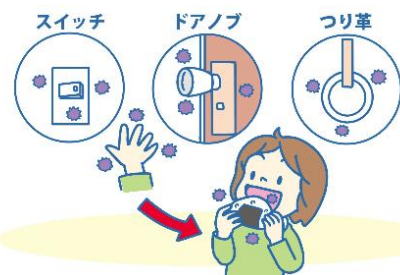
●接触感染●

感染者がくしゃみや咳を手で押さえる→その手で回りの物に触れて、ウイルスが付く→別の人がその物に触ってウイルスが手に付着→その手で口や鼻を触って粘膜から感染

感染経路を意識した予防策を！



飛沫感染の予防で大事なものは **マスク着用**
他人にうつさないようにする **咳エチケット**
接触感染の予防で大事なものは **正しい手洗い**



わらべ保育室

Q&A



Q

インフルエンザでも利用できますか？

インフルエンザも利用の対象となる病気です。

但し、下痢・嘔吐がひどい、脱水症状がある、咳がひどく呼吸困難がある、食欲がなく、ほとんど食べたり飲んだりできないなど、症状があまりに悪く、自宅での経過観察が必要であると医師(庄原クリニック)が判断した場合は利用できません。

A

Q

兄弟二人が同時に病気になりました。一人の時と同じように、兄弟で別々の部屋になりますか？

A

庄原こどもクリニックの診察で診断名が同じであれば、基本的には兄弟で同室の保育看護になります。看護にあたって一対一での対応が適当であると思われる場合には、別々の部屋になることもあります。利用料金については、兄弟の同時利用の場合、二人目以降は半額となります。

《保育室のひとコマ》



わらべ保育室を利用するお子さんの中には、一日の流れがつかめず不安になるお子さんもおられます。

一緒に絵を見て次の行動を思い浮かべることで、生活の流れに見通しを持つことができ、安心して過ごすことができます。

あそんだあとは、おひるごはんだね。



わらべ保育室入口はこちら



庄原市病児病後児保育施設

● **わらべ保育室** ●

庄原市西本町2丁目12番9号

TEL 0824-74-6770

開所時間：月～金曜日 8:00～18:00

(祝日・年末年始を除く)

里山こども未来会議ホームページ ▶

わらべ保育室の利用手順や保育看護の様子などご覧ください

